

平成24年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費
4項 林業費
4目 森林病虫害防除費 <地方機関計上予算>

西部総合事務所農林局(0859-31-9678)
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
よみがえれ弓ヶ浜！ 白砂青松アダプトプログラム	4,250	346	3,904	257			3,993	
トータルコスト	5,859千円（前年度 1,944千円）[正職員:0.2人]							
主な業務内容	ボランティア団体の公募、交付金等事務及び活動支援、関係機関との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	雪害木の撤去、植栽、保育							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

豪雪被害を受けた国道431号沿線の弓ヶ浜松林は、平成23年度に雪害木撤去、植付等の作業が終了し、復旧に目処がついたところである。

そこで、従来からのボランティア活動である「弓ヶ浜のマツ守り隊」をリニューアルし、弓ヶ浜松林を企業や団体を里親として迎える白砂青松アダプトプログラム(※)を実施し、弓ヶ浜松林の継続的保全活動を行う中で、緑の大切さ、森林保全、環境意識を啓発し、更には、全国植樹祭に向けての盛り上げを図る。

(※アダプトとは「～を養子に迎える」の意味で、企業・団体等が公共のスペースを分担して、わが子のように愛情をもってケアすること。今回は県がその養子縁組(マッチング)を行う。)

2 主な事業内容

(1)弓ヶ浜松林の保全活動を行う「弓ヶ浜サポーター(仮称)」の公募

- ・対象地域:国道431号沿いの県有松林など約25ha
- ・区画:対象地域を25区画に分割
- ・公募対象:企業、自治会、団体等

(2)活動のPRと森林保全意識の醸成

区画毎にPR看板を設置し、活動を県内外に広くPRするとともに、県民の活動の場として提供し、森林保全に対する意識を盛り上げ、地域の活性化にも寄与する。

(3)「弓ヶ浜サポーター(仮称)」が行う松林の保全活動や利用に対する交付金の支給

区分	活動内容	交付金
ボランティア	・林内の草刈り、清掃(基本活動)	10万円/地区
スーパーボランティア	・林内の草刈り、清掃(基本活動) ・植林等、一般に開放された交流活動(独自活動)	25万円/地区

3 これまでの取組状況、改善点

- (1)弓ヶ浜松林は国道431号沿線にあり飛砂防備等の生活環境を保全する重要な松林であるうえ、「日本の白砂青松100選」に選定されるなど、西部地区の重要な観光資源として大切にされている。
- (2)平成20年に結成された「弓ヶ浜のマツ守り隊」では、これまで松くい虫被害木の伐倒、抵抗性マツの植栽、林内清掃が実施されてきた。
- (3)平成22年末から平成23年始の豪雪により大きな損傷を受けたことから、国庫事業等による復旧を実施しているほか、地元及び県外からのボランティア(延約800人)による雪害木撤去や植栽作業が行われるなど、白砂青松復活を後押しする気運が高まってきている。
- (4)今後長期間にわたり必要となる松林の保育等の管理を継続的に実施するには、地元ボランティアと県との協働の取り組みを強化することが必要である。
- (5)平成25年には全国植樹祭が西部地区で開催されることから、全国へ鳥取県のボランティア活動のPRができる。